

■一般目標 (GIO)

口腔の健康の維持・増進は、よりよい生活を過ごすために欠くことができないものである。歯科衛生士だからこそ出来ることは何かを考え、対象者の口腔の健康を衛るために必要な支援の知識及び技術を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・健康の概念から歯科保健指導の意義や特性を説明できる。
- ・歯垢染色剤の特性および使用方法，留意点を述べられる。
- ・歯垢染色を安全に配慮して実施できる。
- ・口腔衛生管理に関する清掃用具を説明できる。
- ・口腔衛生管理が実施できる。
- ・口腔衛生管理に関する指導ができる。
- ・学んだことを積極的に実践し，患者指導に活用できる。

■教科書 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医：歯薬出版)

■授業時間：(1)月曜日 15:00～15:50

(2)金曜日 13:00～15:50

■オフィスアワー：中澤 広美 (nakazawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

■授業の方法：・講義：教科書とレジュメ，プロジェクターを利用
・実習：感染予防対策を講じ，安全に取り組む。(各自、事前準備をしっかりと行う)

・グループディスカッション(積極的な意見交換)

■準備学習・事前：・事前に教科書を読み講義，実習内容を予習しておくこと。

準備学習時間：・復習はレジュメと教科書を合わせ，理解を深めること。

・授業時間相当を充てて予習復習をすること。

■成績評価方法：定期試験(80%)，課題(10%)，平常試験(10%)を総合評価

■注意事項：・実習時は身だしなみを整え，忘れものをしないこと。
・課題(レポート)は書き漏れないように，且つ丁寧に書くこと。

・課題(レポート)などの提出期限を厳守すること。

・自分自身の口腔内に関心を持つこと。・実習を欠席した場合は補習対象になるが，補習を欠席した場合の補習は原則認めない。

■実務経験：中澤 広美：大学病院，総合病院，高齢者福祉施設、児童福祉施設での勤務経験を基に，社会のニーズを取り入れた学べる場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回(1) 4月7日 中澤 広美	歯科保健指導論の概要	・ 歯科保健指導の意義・目的および特性を説明できる。 ・ 個人と集団それぞれの歯科保健指導の役割を述べられる。
第2回(1) 4月14日 中澤 広美	歯科保健指導の基礎	・ 健康の概念を説明できる。 ・ 口腔における健康の概念を自身の健康に関連づける。
第3回(1) 4月21日 中澤 広美	歯垢染色剤	・ 歯垢染色剤の概要、種類、使用方法について説明できる。 ・ 歯垢染色使用時の留意点が述べられる。
第4回(1) 4月28日 中澤 広美	歯垢染色	・ 歯垢染色剤は衛生面を配慮し、安全に準備できる。 ・ 歯垢染色剤は感染予防対策に留意し、安全に塗布できる。
第5回(1) 5月12日 中澤 広美	歯ブラシの基礎知識	・ 歯ブラシの形態、各部名称、特徴、種類、管理方法、為害作用を説明できる。
第6回(1) 5月19日 中澤 広美	ブラッシング方法の基礎知識 ブラッシング方法Ⅰ	・ ブラッシング方法の利点、欠点、為害作用を説明できる。 ・ 口腔清掃法について説明できる。 ・ ブラッシング方法の種類、適応、特徴および留意点が説明できる。
第7回(1) 5月26日 中澤 広美	ブラッシング方法Ⅱ	・ ブラッシング方法の種類、適応、特徴および留意点が説明できる。
第8回(1) 6月2日 中澤 広美	ブラッシング方法Ⅲ 補助的清掃用具Ⅰ	・ ブラッシング方法の種類、適応、特徴および留意点が説明できる。 ・ 補助的清掃用具(デンタルフロス)の種類、目的、適応症、為害作用を説明できる。 ・ デンタルフロスの基本的な使用方法が述べられる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第9回(1) 6月9日 中澤 広美	平常試験 補助的清掃用具Ⅰ	・ 平常試験を行い、知識の確認ができる。 ・ デンタルフロスが口腔内で操作できる。 ・ 補助的清掃用具(歯間ブラシ、タフトブラシ他)の基礎知識として種類、目的、適応症、為害作用を説明できる。
第10回(1) 6月16日 中澤 広美	補助的清掃用具Ⅱ	・ 補助的清掃用具各種の使用方を説明できる。 ・ 補助的清掃用具各種の基本操作できる。
第11回(1) 6月23日 中澤 広美	補助的清掃用具Ⅲ	・ 補助的清掃用具各種の使用方を説明できる。 ・ 補助的清掃用具各種の基本操作ができる。
第12・13・14回 (3) 7月11日	補助的清掃用具Ⅳ (実験室にて実習) 歯科衛生士に必要な言葉遣い	・ 各種補助的清掃用具の特徴が述べられる。 ・ 各種補助的清掃用具の活用方法を述べられる。 ・ 各種補助的清掃用具の指導方法が想起できる。 ・ 歯科衛生士として患者にふさわしい言葉遣いを実践できる。